

八千代市の市民のみなさまへ

2025年こそ最後の転換期 4年間で“人に優しい街”へ 変革するアクションプラン

「八千代の未来を
左右する13の難題」

現状維持か、ディーエックス
攻めの**DX**革命か？
(デジタル・トランスフォーメーション)



大沢 かずはる



「大沢かずはる【公式】チャンネル」 YouTube をぜひ、ご覧ください



大沢かずはる



こちらの QR コードを
カメラで読み取ってください



その他の SNS はこちら



なぜ 77 歳の「大沢かずはる」が、今さら立ち上がるのか？

「市長が変われば八千代は変わる、変えられる！」と信じているから

01

25 年前に市長、さらに市議 2 期で
“現場主義”を貫いてきました

- ・一度、市長を経験しました。退任後も市議を 2 期務め、街路樹やトイレ改修など、細かな要望にも真剣に取り組んできました。
- ・「市民とともに考え、市民のために行動する」をモットーとしてきました。

02

現市長の公約未達と
リーダーシップ不足が
あまりにも大きいです

- ・東葉高速鉄道の運賃値下げや、京成線踏切立体化…。現市長は 2 期 8 年で、ほぼ進んでいません。
- ・大沢が調べた結果、八千代市役所は周辺市より中途退職者が突出して多いです。令和 5 年度は 46 名と過去最高水準でした。

03

4 年で土壌を作り
若手へバトンタッチしたいです

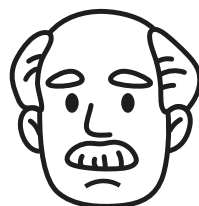
- ・私は“ピンチヒッター”のつもりです。同世代の議員・職員から共感を得やすい立場だからこそ、今動きます。
- ・DX（デジタル・トランスフォーメーション）導入の基盤を整え、若いリーダーにバトンを渡す覚悟です。

「桜」&「欅」の伐採… “一時が万事” 現市長の配慮不足



花見直前に桜を
大量カット…
謝罪も説明もなし

- ・ 普通なら「時期をズラす」「周知する」のが当たり前です。
- ・ 市長として、トップが率先して責任を取り、住民に配慮すべきですがそれすらありませんでした。



体育館改修で
欅の木も“邪魔扱い”
➡ 条例に矛盾

- ・ 樹齢 40 年超の大切な欅が工事優先で切られてしまいました。
- ・ 住民への事前説明がゼロ…。市の緑を守る条例&市民憲章にも反しかねません。



リーダーシップ不足の象徴
「在庁時間の短さ」

- ・ 大沢が市長車運転日誌を確認すると、現市長は朝の登庁は遅くに、午後は早々に退庁するケースが多数でした。
- ・ 市の職員いわく、「上に相談しても会えない」「提案しても無駄」、この空気が若手の退職増につながります。

一時が万事、こうした配慮不足が、現市長の他の施策にも悪影響

現市長の公約未達 5 例

(まだ他にも多数…)

01

京成線踏切立体化

「渋滞解消！」と掲げたが
具体的計画も予算も示せず中止

04

UR 団地エレベーター設置

高齢者対策の切り札と公言
→いまだ協議すら曖昧

02

東葉高速鉄道運賃値下げ

市の独断で決められる話ではなく
実質交渉も進まず終了状態

05

小中一貫校・子育て支援

先延ばし続きで、保護者不満
「何も進まない」という声多数

03

新川観光船めぐり

「民間連携」と言うだけで
資金計画や採算性は不透明



現市長は、他にも“仕事と子育て両立支援”
“バスと福祉タクシー併用交通計画”など公約未達多し

八千代市が抱える「13の難題」…もし放置すれば？

「生成 AI」が予測して作った未来のイメージ

(※画像は全てイメージです。)

1

高齢化社会の波が
一気に押し寄せる

生成 AI が生成した 30 年後…



人口構成が乱れ、社会保障費が増大

2

医療・介護が崖っぷちに

生成 AI が生成した 30 年後…



施設不足、在宅介護疲労→家族負担が限界

3

渋滞と交通不足
➡ 停滞スパイラル

生成 AI が生成した 30 年後…



高齢者が移動できず“買い物難民”も

4

無計画な住宅地拡大
➡ 農地・緑が消える

生成 AI が生成した 30 年後…



景観と農業が弱体化、地盤リスクも

5

老朽化する公共施設
& 学校が限界

生成 AI が生成した 30 年後…



耐震不足や修繕費膨張、教育環境も悪化

6

文化スポーツの衰退
➡ 人材が育たない

生成 AI が生成した 30 年後…



部活動やイベントが成り立たず、若者離れ

7 防災力の不足が露呈

生成 AI が生成した 30 年後…



大災害時、庁舎機能が落ちたら致命的

8 自然環境 SOS… 桜伐採は序章に過ぎない

生成 AI が生成した 30 年後…



自然保護条例が形骸化すれば、景観破壊加速

9 再エネ導入の遅れ

生成 AI が生成した 10 年後…



電力コスト上昇、企業も離れ経済にも打撃

10 地域コミュニティ崩壊

生成 AI が生成した 30 年後…



町内会活動のマンネリ化、孤立高齢者が増大

11 観光ポテンシャルを 生かしきれず停滞

生成 AI が生成した 30 年後…



千本桜や農産物が宝の持ち腐れ

12 商店街がシャッターだらけ

生成 AI が生成した 30 年後…



雇用機会が激減、若者流出

13 防犯対策不足
➡ 安全崩壊

生成 AI が生成した 10 年後…



景観と農業が弱体化、地盤リスクも

これらは、ほんの一例！
問題は複雑に絡み合い連鎖的に悪化

大沢かずはる公式
ホームページで
10 年後・20 年後・30 年後の
予測イメージを公開中



ホームページは
こちらをカメラで



現市長では「13の難題」を解決できない→なぜDXが要る？

従来の
“前例踏襲＋公約未達”が
続けば
コスト増 × 収入減

- ・ 現市長に、このままあと4～8年やられても、「13の難題は」放置に近いです。

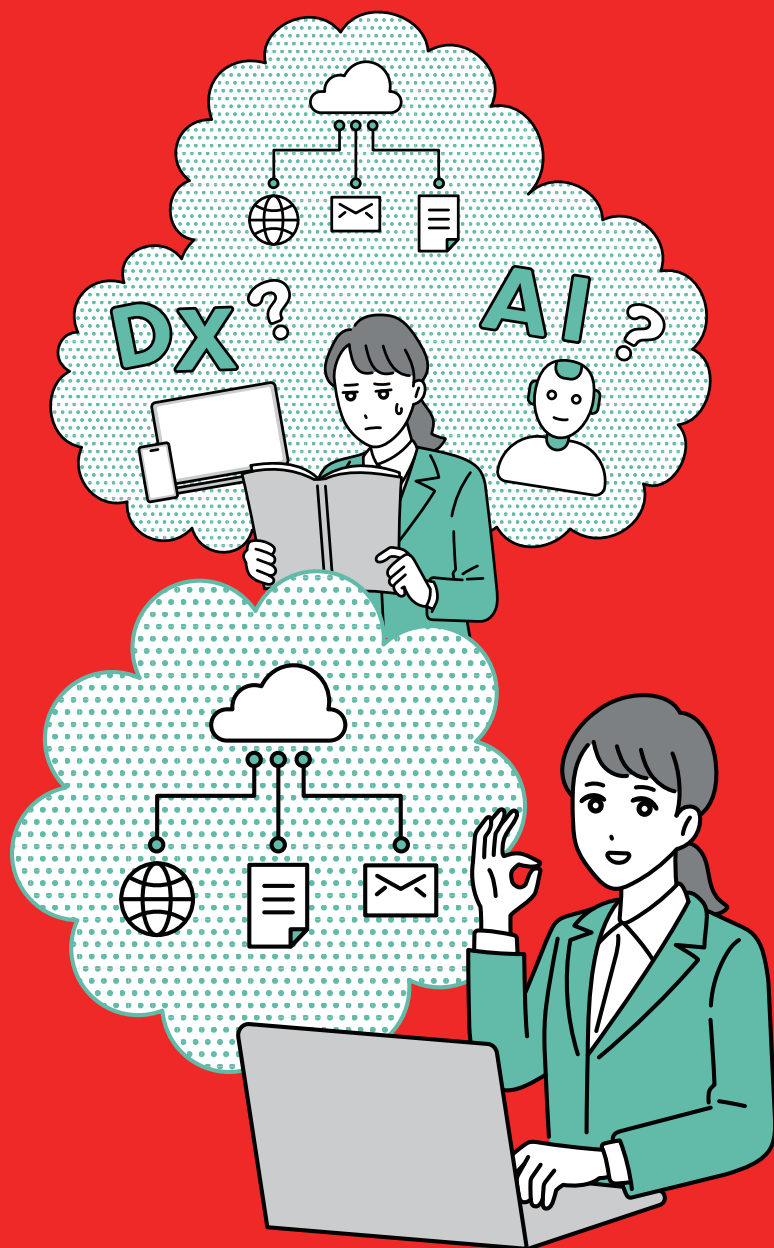
DXで
“労働生産性アップ
& 予算再配分”を
しないと無理

- ・ 少子高齢化を乗り切るには、予算と人材の最大活用が必須です。
- ・ DX＝省力化や新施策を生み出す革命的手段です。

77歳でもDX革命
私が率先して
ベテラン層を動かします

- ・ 若者が言っても「AI・DXなんて…」で終わってしまいがち…。
- ・ 「大沢かずはる」が同世代の議員・職員の理解を得やすいです。

実はこの 2025 年が最後の転換期——DX で地方創生



IT 革命で日本は失われた 30 年を招いた

- ・ 1995 年からのインターネット普及に乗り遅れ、国際競争力が低下しました。

今度は AI 時代が加速→ここで乗らねば手遅れ

- ・ 2025 年を境に世界は AI 活用を一気に進めます。
(生成 AI の登場など)
- ・ 地方こそ先陣を切って DX をやれば国や投資家の支援を得やすいです。

投資家が“DX・AI・地方創生”に注目

- ・ インバウンド / アウトバウンド、農産物販路開拓など AI マーケティングで大きな成長が見込めます。
- ・ 役所が率先して DX を進めれば、中小企業も安心して導入しやすいです。

**2026 年では、ましてや 4 年後では
もう手遅れなんです**

「大沢かずはる」のDX具体策 - 案①

アプリ + “AI ボックス” で

「市民の意見をくまなく収集」

若者 & 現役世代向き

アプリでいつでも
意見投稿

スマホで音声
テキスト入力



AI が集計し
役所へレポート

- ・ 住民の声をリアルタイムで把握できます。
- ・ 「桜伐採」のような苦情も早期に察知できます。

高齢者・IT 苦手層向き

公共施設・駅前に
“AI ボックス（仮称）”

マイクに話すだけ



AI がテキスト化



AI が集計し
役所へレポート

- ・ 従来のアンケートやパブコメより格段に多くの声を集められます。
- ・ 偏った意見ばかりではなく、幅広い世代の生の声を即分析でき、施策に活かします。



※画像はイメージです

「大沢かずはる」のDX具体策 - 案②

「市役所にDX人材を育成」

労働生産性が数倍アップ
職員に余力が生まれ
住民サービスの質が向上



内面改革こそ ローリスク・ハイリターン

新たにハコモノを
建てるわけではない

➤ 大予算不要

DX研修&人事評価刷新

➤ AIツールを使えば
資料作成やデータ分析が
激速になる

市の職員の提案意欲を 高める組織に

「どうせ無理…」が
「やってみよう」に変われば
若手・中堅の大量退職も減ります。

DXの恩恵

➤ “業務の数倍効率化”
➤ 余った時間や予算を
子育てや介護、防災に回せる

予算編成をAI解析 ➤ 無駄を大幅にカット

前年度踏襲をやめ
コスト対効果を可視化できます。

浮いた財源を
“人に優しい”施策へ再投資できます。
(子育て、教育、スポーツ、観光など)

【大沢かずはる・公約一覧】

「DX の“エンジン”」+「4 つの重点枠」×「3 つのアクション」で
八千代を変えていきます！

DX のエンジン

「13 の難題」に挑むため、“DX”を市役所に導入します

重点枠 1

行政改革
政治再編

アクション



- 1 AI ボックス（仮）+アプリで
住民の声を的確に収集

重点枠 2

医療・福祉
子育て・教育

アクション



- 1 医療センター再生&
介護DXで
持続可能な福祉へ

重点枠 3

防災・インフラの再編

アクション



- 1 ぐるっと号を再導入し
移動を支援

重点枠 4

経済・観光
コミュニティ

アクション



- 1 農業・商工業×DXで
ブランド化&
海外展開をめざす



- ② DX 活用で予算を可視化し
緊急度・効果を明確に



- ② 「ワールドライトプロ
ジェクト」構想で若者が
住み続けたいまちに



- ② 新庁舎屋上に
ドローン基地を整備し
防災力を強化



- ② 千本桜&百万本バラを
国内外にPRし
観光力を高める

アクション



- ③ 新評価制度で
市の職員の提案力を
活かし前例踏襲を打破

アクション



- ③ 教育委員会を新庁舎に
統合し、学校 DX &
スポーツ振興を推進



- ③ 第三セクターと連携し
東葉高速鉄道運賃問題を
見直す

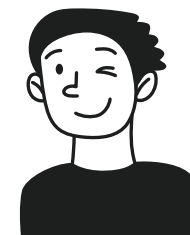
アクション



- ③ デジタル活用で
防犯とコミュニティを
再生

「大沢かずはる」の描くロードマップ

4年で“人に優しいDX自治体”へ



4年目

成果を公開

➤ 若手リーダーに
バトンタッチ

・コスト削減・退職者減など
具体成果を発信します。

私は長期政権ではなく“4年限定”
➤ 次世代がDXを完成させる



1年目

DX推進委員会を発足
& 職員AI研修

・若手・中堅＋外部専門家でスタート
国県補助も活用し費用を抑えます。

アプリ＆AIボックスの試行導入
➤ まず市の職員自身が体験する

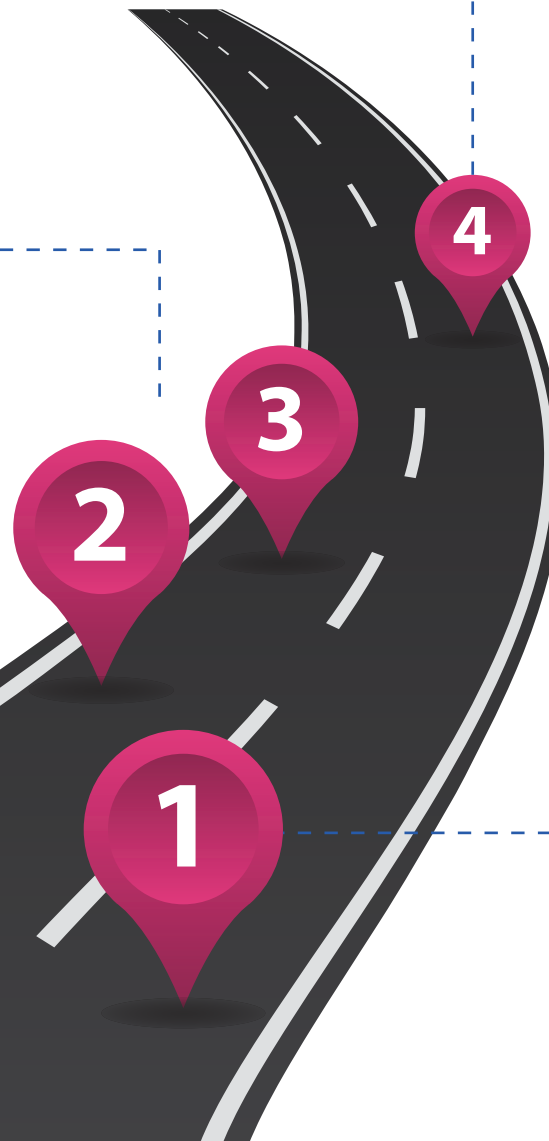


2～3年目

AI予算編成を本格稼働
& 市民意見を即反映

無駄事業を洗い出し
➤ 子育て・介護・商店街支援に再投資

意見収集と連動し、柔軟に施策変更
➤ スピード感UP



【公約】の詳細をご説明します まず、「13の難題」に挑むため、“DX”を市役所に導入します

八千代市には…

「**現市長の公約の未達成や、
職員のモチベーション低下**」
「**少子高齢化・医療・交通・防災など、
多くの課題（13の難題）**」

…が山積みです。

こうした状況に立ち向かうには、市役所に
「DX（デジタルを活用した新しい仕組みづくり）」を
導入し、組織の働き方や発想を大きく変えていくことが
急務だと考えています。

DX（デジタル・トランスフォーメーション）とは？

- ・ AIや生成AIなど、最先端技術を使いながら
- ・ 組織全体でデータや新しいアイデアを重視して
- ・ 効率的かつ柔軟に問題を解決していく考え方

…を指します。（労働生産性のアップ）

DX推進委員会を市政の中心に据えます

- ・ 市の担当部署ごとに「13の難題」を検討
- ・ DX推進委員会で最終調整
- ・ 新施策を提案・実行

こうした流れを4年間で整備し、
前例踏襲にとらわれない市役所へ変えていきます。

市の職員を“DX人材”へ

- ・ 生成AIなどのツールを活用し、データに基づく政策立案が
できるようにしていきます。
- ・ これにより、予算や施策を“先進的な形”で
検討しやすくなります。

“桜も市民も大事にする”姿勢

- ・ 「AIボックス（仮）+アプリ」で住民の声を幅広く収集し、
先回りで課題を把握する市政運営をめざします。
- ・ 市長がなるべく役所にいて、提案をすぐ検討できる
環境をつくります。

重点枠 1 行政改革&政治再編



① AI ボックス+アプリで住民の声を的確に収集

- ・ 駅前や公共施設に“AI ボックス（仮）”を設置し、アプリでも意見を受付けます。
- ・ 集まったデータを AI や生成 AI で分析し、どこに予算・人手を注ぐべきかを可視化し、早めに対策できるようにしたいと考えています。
- ・ 議会の承認が必要ですが、必ず提案し、実現をめざします。

② DX 活用で予算を可視化し、 緊急度・効果を明確に

- ・ AI や生成 AI を使い、市の事業の必要度を客観的に把握します。
- ・ “何となく続けてきた施策”を再点検し、医療・子育て・防災など
- ・ 本当に必要な分野へ予算を集中しやすくします。
具体的制度案を示し、議会との合意形成を図ります。



③ 新評価制度で職員の提案力を生かし、前例踏襲を打破

- ・ 提案しても無駄…という空気をなくし、良いアイデアや積極行動を評価する制度を整えたいと考えています。
- ・ 組織全体でイノベーションが起こるようにすることで、DX 人材を多数育て、前例主義から抜け出します。



① 医療センター再生 × DX で持続可能な福祉へ

- ・ AI や生成 AI を経営分析に活かし、東京女子医大などと協力して、医療センターを持続可能な形に再生したいと考えています。
- ・ 在宅介護にも IoT やオンライン相談を導入し、高齢者や介護者の負担を軽減します。
- ・ 議会・関係機関との合意が不可欠ですが、具体的改革案を提案し、実現をめざします。

② 「ワールドライトプロジェクト」構想で若者が住み続けたいまちに

- ・ DX 時代に必要な体験 × 学習 × 遊びを提供する拠点として、新アイデアを担当部署と共に考えたいです。
- ・ この施策の狙いは、若者が“八千代に住み続けたい”と感じてもらえるようにすることです。
- ・ ネーミングや財源を含め、4年で道筋をつくり、次世代が加速できるようにしたいです。



③ 教育委員会を新庁舎に統合し、学校 DX&スポーツ振興を推進

- ・ 現市政では教育委員会を庁舎から分離しましたが、DX 時代の転換期に義務教育を見直すには、市との連携が不可欠です。
- ・ 教育委員会を新庁舎に戻し、学校現場のデジタル活用を進め、スポーツ振興宣言で生涯スポーツを盛り上げます。
- ・ 議会承認が必要ですが、必ず提案を行い、合意をめざします。



① ぐるっと号を再導入し、移動を支援

- ・ 交通弱者の支援と巡回バス再導入をめざします。
- ・ AI で需要やルート进行分析し、財政負担を抑えながら高齢者・障がい者・子育て世帯の移動をサポートします。
- ・ 議会との折衝が必要ですが、計画を示し、実現をめざします。

② 庁舎屋上にドローン基地を整備し、防災力を強化

- ・ 台風・地震など非常時にドローンで空撮・物資輸送・要救助者探索（心拍センサー等）を行い、市民の命を守りたいと考えています。
- ・ 防災計画にもデジタル技術を活用し、住民へのリアルタイム情報発信を強化します。



③ 第三セクターと連携し、東葉高速鉄道運賃問題を見直す

- ・ 鉄道会社の収支を AI で分析し、駅の商業利用や広告収入などを官民で一緒に検討し、DX で収益アップの道を探りたいと考えています。
- ・ 将来的な運賃値下げの可能性を高め、宅地拡大や老朽施設も次世代が再編できるような基礎固めを進めます。



① 農業・商工業 × DX でブランド化&海外展開をめざす

- ・ 農業・産業地域の振興、経済の育成を図ります。
EC やメタバースなど先端技術を用いて地元産品・商店街の魅力を国内外に売り込みたいと
- ・ 考えています。
- ・ スマート農業からさらに一歩進み、海外から直接オファーを受ける仕組みも検討したいです。

② 千本桜&百万本バラを国内外に PR し、観光力を高める

- ・ DX マーケティングで多様な旅行者（ペルソナ）を
分析し、パーソナライズされた PR を行い、
インバウンドにも対応します。
- ・ イベントやグルメと連動させて、“花のまち八千代”を
さらに魅力的にしたいと考えています。



③ デジタル活用で防犯&コミュニティを再生

- ・ AI 防犯カメラや自治会アプリなど、監視社会になりすぎない範囲で安全を強化します。
- ・ 高齢者や障がい者の就労支援・見守りにも DX を取り入れ、地域全体で助け合う体制を
めざします。
- ・ 議会や市民の理解が必要ですが、段階的に提案し、合意を得ながら実行していきます。

「大沢かずはる」は、4年間で“DXの土台”を築き、 次世代が本格的に「13の難題」の解決を進められるようにします

4年ですべてを解決するのは容易ではありません。
しかし、DXを取り入れた新しい発想が市役所に根付けば、

「13の難題」も「担当部署 → DX推進委員会 → 素早く施策化」
という流れで動かせるようになるはずです。

こうして、次のリーダーがさらにスピード感をもって解決を進められるよう、
私はこの4年で“土壌を耕す”ことに全力を注ぎます。



大沢かずはるの決意

桜を大切にするように、市民を大切にする政治を、DXの力で前に進めたいと考えています。
高齢の私だからこそ、保守的な構造と調整しながらDXを根付かせる役割を担いたいと思っています。
ぜひ、この4年間で土台をつくり、次世代が“八千代の未来”を完成できるようにしましょう。
一緒に実現をめざします。

なぜベテラン高齢者の私が DX を推すのか



同世代の議員や 職員からの理解を 得る努力をする

- ・若い議員が「DX だ AI だ」と訴えても、「そのうちやれば」程度で後回しにされがちです。
- ・私が 77 歳でも先頭に立ち周りのベテラン層に「今やらねば手遅れ」の共感を得たいです。

“在庁時間の確保”＋ “コミュニケーション”で リーダーシップを発揮

- ・常に職員と対話し“提案しても無駄”を覆します。
- ・DX は冷たい機械化ではなく“人を活かす道具”あたたかい市政運営を目指します。

4 年でまとめて DX を進め若手に繋ぐ

- ・私自身が次世代への“橋渡し役”として全力投球します。
- ・日本全体が AI 時代に向かう今こそ“過去の経験を持ったものが動く”意味があると信じています。

大沢かずはる — これまでの歩みと実績 (1/2)

これまでの主な役職・肩書き

- ・ 八千代市市長
住民の声を重視した行政運営に注力
- ・ 千葉県議会議員
県政の場で八千代市の声を積極的に発信
- ・ 八千代市商工会副会長（商工会議所設立準備）
地域経済の活性化と産業振興に尽力
- ・ 八千代市福祉協議会理事
高齢者・障がい者支援や福祉施策の充実を推進
- ・ 日本青年会議所 常任理事・法制顧問
青年世代の社会貢献活動をリード
- ・ 日本青年会議所 千葉ブロック協議会 会長
千葉県全体の青年活動や地域課題解決に貢献
- ・ 八千代市青年会議所 第10代理事長
若者の力を結集し、市内のまちづくりに取り組む

条例・宣言・シンボルなど“制度面”の整備

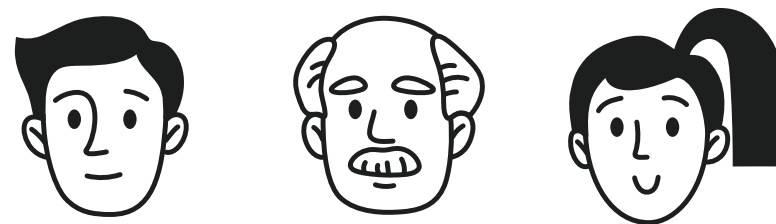
- ・ 八千代市市民憲章の制定（平成10年11月19日）
市民一人ひとりの権利と責務を明確化
- ・ 健康都市宣言の制定（平成11年3月19日）
健康増進に取り組む市の姿勢を対内外に明示
- ・ 八千代市子供憲章の制定（平成13年1月1日）
子どもの健全育成と安心できる環境を保障
- ・ 市の花「バラ」・シンボルマークの制定（平成9年1月）
八千代市の特色を象徴するシンボルを確立



大沢かずはる — これまでの歩みと実績 (2/2)

具体的な実務成果・施策

- ・ 財政状況の改善
行財政改革に取り組み、安定した市運営を実現
- ・ 防災体制の確立
市内小中学校 32 校に防災用井戸や非常食を整備
消防赤バイ隊を創設し、迅速な初動体制を強化
- ・ 公共施設循環バス「ぐるっと号」の運行開始
高齢者・子育て世代の移動手段確保と利便性向上
- ・ 東京女子医大の誘致
医療環境を整備し、市民の健康と地域医療を充実
- ・ 新川千本桜・百万本のバラ運動の提唱
地域の観光・景観づくりやシビックプライドの向上
- ・ 文化伝承館の設立
八千代の歴史・文化遺産を次世代へ継承
- ・ ふるさとステーション開設
地域の農産物や特産品の流通と情報発信を支援
- ・ ファミリーサポートセンター開設
子育て世帯の相互支援体制を構築
- ・ 市民活動サポートセンター開設
NPO やボランティアなど市民活動の拠点を整備
- ・ 多目的広場への夜間照明設置
スポーツやレクリエーション活動の環境を拡充



まとめ & 呼びかけ



大沢 かずはる

市民に飽きられた市政を壊す！

問題を分かっているけど誰も動かない状況、我慢の限界です！

期待も失望も通り過ぎた先にある“慣れ”の空気を壊します！

**市長が変われば八千代は変わる、
変えられる！**

「現状維持」か「DXで人に優しい未来」か

- ・ 現市長の、公約未達だらけのマインドで三期目突入すれば、また4年間、「13の難題」は放置される恐れ大です。
- ・ DX（デジタル・トランスフォーメーション）は単なるデジタル化でなく、「市の職員の労働生産性アップ」で職員に生まれる余力を「住民サービスの質の向上」に振り向けることができる強力な手段です。

77歳の「大沢かずはる」が4年で土壌を作る覚悟

- ・ リーダーシップ&DXを駆使して思いやりの欠けた「桜伐採」のような不祥事や職員退職を減らします。
- ・ 次の若いリーダーに市政をスムーズに引き継げるよう、今、一気に改革を進めたいです。

応援と参画をお願いします

- ・ AIボックスやアプリに、ぜひ、みなさまの声を寄せてほしいです。全世代の声をDXで可視化し、“人に優しい八千代”を作ります。
- ・ この4年間で“八千代モデル”を全国に示し、人や企業が集まる地方創生を一緒に実現しましょう！